

2024年濱口梧陵国際作文コンテスト

～次代を担う高校生を対象～

募集期間を2週間延長します

大地震や大津波が来た時
あなたはどうしますか？

濱口梧陵氏が村人と整備し、今も住民を守る広村堤防
(延長600m、幅20m、高さ5m)

(写真提供: 広川町)

稲むらの火(逸話) 170年前のある日、**濱口梧陵氏**は、自身の稲むらに火を放つことで大津波から多くの村人を避難させ、その後も、情熱と私財を投じ、村の復旧、復興や防災に尽力された。



濱口梧陵氏

【補足】逸話は戦前の教科書に。11/5は防災の日や世界津波の日に。私塾の開設や医学の支援も実施。

この逸話を読み、「考えたこと」「感じたこと」「体験したこと」「思うこと」などを

自分の言葉で作文にしてみませんか。



濱口梧陵氏 稲むら
(資料提供: 内閣府防災担当)

【対象】国内外の高校生(国外は日本の高校相当)。

【様式】日本語又は英語。日本語1600字以内、英語700語以内。1人1点限定。

【賞等】優秀賞3点(最大)、入選15点(最大)。(応募者に参加証明書をメール) 賞状(優秀賞・入選)、副賞(優秀賞のみ高校に10万円(書籍購入等))。

【募集HP】:<https://www.pari.go.jp/event/seminar/hamaguchi-award/2024/2024-sakubun/index.html>



稲むらの火逸話 昨年受賞作品

高校生の皆さんの声をぜひ聴かせて下さい

【提出】メール又は郵送。7月31日8月15日必着。10月末頃公式HPにて公表予定。

【宛先】国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会(事務局)

[mail] hamaguchi_essay@p.mpat.go.jp (TEL: 046-844-5040)

[郵送] 〒239-0826 神奈川県横須賀市 長瀬3-1-1 港湾空港技術研究所

詳しくは
こちら

募集HP(日) 募集HP(英)

